

編集後記

多文化社会学部紀要『多文化社会研究』の第2号をお届けします。今回は第3回多文化社会学研究会シンポジウム「グローバル化する食文化とローカリティの変容—味覚の世界から考える多文化状況」(2015年11月6日開催)から講演原稿3本、学術論文1本がメインの構成になっています。

学部創設2年目という落ち着かない状況を考えれば、致し方ないことかもしれませんが、それでも学部内からの投稿の少なさが気にかかります。

長崎大学は、多くの地方国立大学と同様に、理系主導の大学です。新制大学になって以降、歴代学長14名のうち1人を除くと全員が理系出身者です。また、長崎大学は、本学部ができるまで、文・理とも基礎系学部がない、応用系に偏った総合大学でした。学外に目を向けると、2015(平成27)年6月、文部科学省は、教員養成系や人文社会学系学部・大学院に、組織の廃止や社会的要請の高い分野へと転換することを求めました。このように人文・社会科学を巡る内外の困難な状況にもかかわらず、多文化社会学部が創設されたわけですから、われわれは、文系基礎学の重要性を広く再認識してもらえるよう常に努力する必要があります。学部紀要を育てていくことは、地味ではありますが、その一つの方法としてとても大切だと思います。

『多文化社会研究』第2号編集委員長 正本 忍

多文化社会研究編集委員会

委員長	正本 忍	委員	連 清吉
			広瀬 訓
			王 維
			増田 研

長崎大学 多文化社会学部 多文化社会研究

第2号

平成28年3月4日 発行

発行 長崎大学多文化社会学部
〒852-8521

長崎県長崎市文教町1-14
(TEL)095-819-2934

印刷 株式会社 昭和堂

ISSN 2189-1486